

経営比較分析表（平成29年度決算）

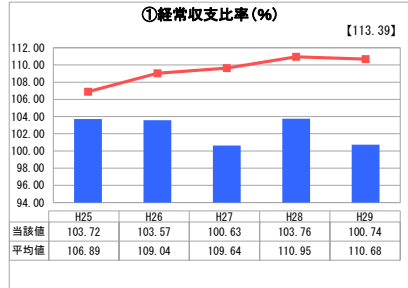
山形県 上山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	67.06	98.43	3.725	

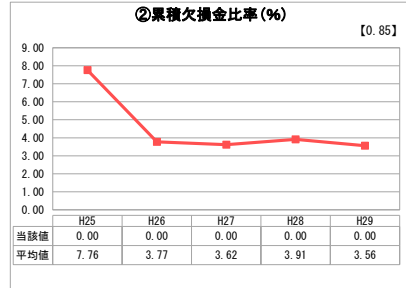
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
30,889	240.93	128.21
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
30,252	37.80	800.32

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成29年度全国平均

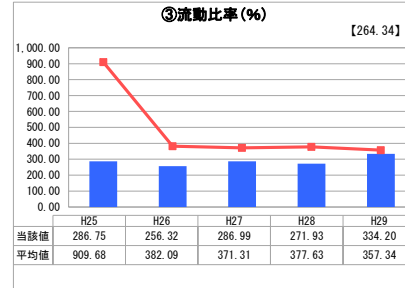
1. 経営の健全性・効率性



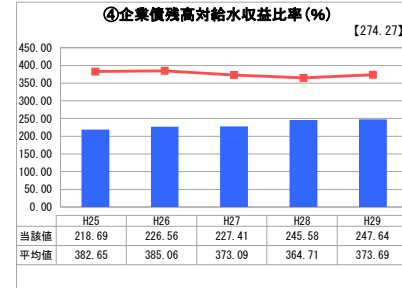
「経常損益」



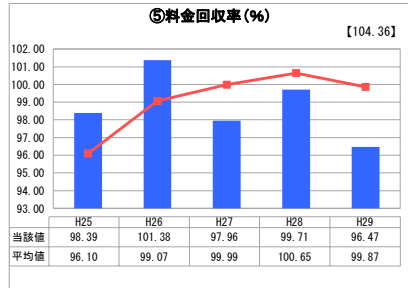
「累積欠損」



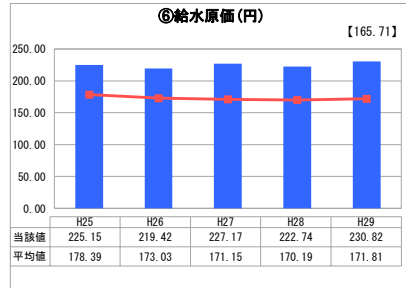
「支払能力」



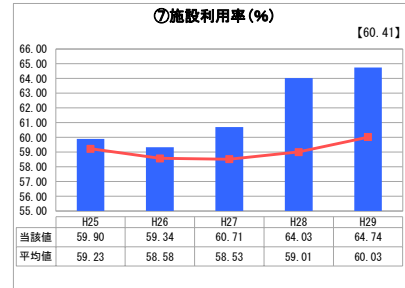
「債務残高」



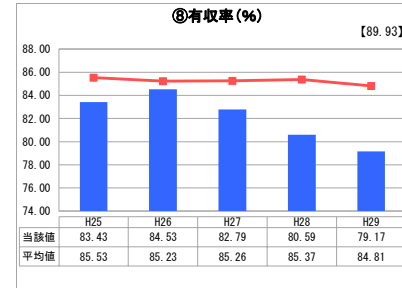
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

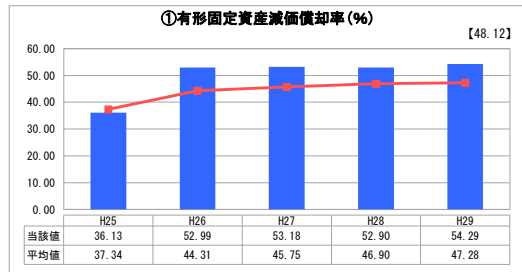


「施設の効率性」

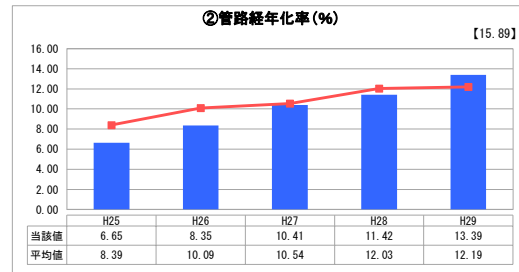


「供給した配水量の効率性」

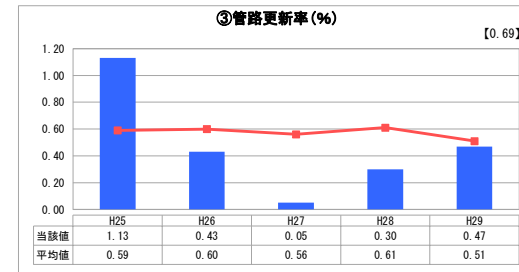
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率
100%超、経営の健全性は確保している。
- 料金回収率
営業収支の赤字を営業外収支で補っている状況が続いており、経費削減等により、回復していく必要がある。
- 有収率
平均値より落ち込んでおり、漏水等の面的調査、維持修繕の集中による有収率の下げ止まり策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率
- 管路経年劣化率
- 管路更新率
更新需要と更新投資財源のバランスが悪化しつつある。長期的な更新投資の平準化を図る事により更新需要と財源確保の整合を取る必要がある。

全体総括

悪化を示す指標も見えるため、フィードバックして対応策を講じていく必要がある。
当面は現在の経営水準を維持していくが、より長期的には水道料金の適正化を視野に入れつつ持続的経営を図る。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。